
岐阜県立岐阜高等学校

校長 石田 達也
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

- 1 会議の名称 第2回岐阜高等学校学校運営協議会
- 2 会議の構成 委員 伊在井みどり 安江病院 院長
高木 敏彦 岐阜県教育文化財団 理事長
中村こず枝 岐阜市健康部長兼保健所長
西津 貴久 岐阜大学 教授
萩野 順子 本校PTA会員
安田 洋一郎 本郷自治会副会長

(敬称略 委員名は50音順)

学校側	石田 達也	校長
	寺倉 新一	事務部長
	笠原 常豊	教頭
	渡部 彰規	教頭
	杉山 秀謙	教務部長
	北川 英治	生徒指導部長
	黒井 昌和	進路指導部長
- 3 会議の目的 「将来の日本や世界の様々な分野でリーダーとして活躍する人材の育成」等の観点から、岐阜高校の教育活動の在り方について、地域住民や保護者及び有識者などから幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和5年10月6日(金) 13:00~15:00 会議室
委員4名(2名欠席) 学校側7名出席
- 5 会議の概要 (1) 生徒との懇談会
(2) 今年度前期の取組進捗状況(教務・進路指導・生徒指導)
(3) 令和5年度生徒・保護者学校評価アンケート結果
(4) 委員からの意見・提言

【委員からの意見・提言】

○生徒と協議会委員との懇談において

(陸上部、演劇部の各代表、生物学オリンピック金賞受賞者、模擬国連大会優秀初心者賞受賞者が、それぞれの取組の内容、今後の抱負等を語る。その後、協議会委員が質問した。)

意見1：(陸上部代表生徒へ)

今、「チーム○○」が大切である。陸上では個人で種目に取り組むが、「チーム」というものをどう考えているか。

⇒陸上は個人競技であるが、チーム競技以上に支え合う面が多い。苦しい練習を乗り越えることができるのがチームだと思う。

意見2：(演劇部代表生徒へ)

高校生の演劇は、最近メッセージ性が高い。(私共が所有する)稽古場を貸すこともできる。今後の意気込みはどうか。

⇒今回、脚本書きも演出も自分たちでやったものが評価されてうれしい。今後も、自分たちがやりたいことを楽しんでやっていきたい。

意見3：(生物学オリンピック金賞受賞者へ)

今後の進路の目標は何か。
⇒細胞生物学の研究をしていきたい。

意見4：（模擬国連大会優秀初心者賞受賞者へ）
模擬国連の決議はどのようなものになったのか。
⇒全会一致を目指したができなかった。教育の質を充実させるという方向性は同じだったが、（先進国が）条件付きで支援するか、（発展途上国が）条件なしで支援してもらいたいかの相違があった。

意見5：みなさん楽しそうにやっていて、それが今後の自分の課題になっていくのが素晴らしい。頼らなければならないことは、学校や地域の方々に頼って、力を伸ばして行ってほしい。

○今年度前期の取組進捗状況に関して

意見6：最近先生方のやれる範疇をこえる問題が出て来ているが、できるだけ努力でやってもらえればよい。そうでなければ働き方改革を叫んでいるだけで終わってしまう。

意見7：子どもに自分で考えさせることが大切である。親が強制することはできない。スマートフォンについても、「自分がされていやなことをしない」ということは伝えられるが、問題を起こさないようにするために、事前にどう伝えるかは難しい。

意見8：悩みをひとりで抱え込んでしまう生徒がいるとのことだが、生徒同士の対話はないのか。
⇒部活動などクラス以外でコミュニティをもっている子は耐性がつく。最近は成績等の悩みを仲間に打ち明けることが少なくなってきており、生徒同士の人間関係の構築が難しい。
⇒1年生で、周りとのコミュニケーションが取れず、悩みを抱え込んでしまう子が比較的いる。また、親の子どもへの接し方が、子どもの負担になっている場合もある。保護者同様、教員も生徒の自立については、悩みながら対応している。

意見9：グローバルリーダー養成事業への募集は、教員から生徒に声をかけるのか。
⇒教員から声をかけることはあまりないが、自分から参加を希望する生徒が増えてきた。

意見10：勉強以外の自分のよいところ、強みを見つけていけるとよい。学校ではいろいろな分野の話を生徒にして、選択の幅を広げてほしい。親も学校での講演会の話に影響を受けることもある。

意見11：最近の生徒の中で、点数さえ取れば、高校に行かなくてもよい、高卒認定試験に受ければよいという極論化した考えの者はいるのか。
⇒岐阜高校に入学して、勉強を第一に考えている生徒は多いが、勉強以外の場所（部活動等）でも学ぶべきことがたくさんあると思っている生徒も多い。教員も部活動で仲間とともにチームとして取り組むことを大切に考えて活動している。

意見12：今年の文化祭・体育大会は保護者の全面参加が再開されてよかった。3年生はこれまでコロナ禍で行事に恵まれなかったが、今年はみんなで作り上げた、やり切ったということが今後の受験でも心の糧になると思う。親としても、そうした顔を見せてもらったことはうれしかった。

6 会議のまとめ

- ・各委員から、忌憚のない多くの意見・質問を得た。特に今回は、本校生徒と委員との懇談も含めて、各委員に生徒の様子を知ってもらう大変貴重な機会となった。
- ・第3回では、今年度の教育活動の振り返りと次年度の学校運営への提案を行う予定である。